

平成11年度試験研究成果

区分	指導	題名	雨よけトマトのセル苗直接定植における仕立法		
〔要約〕雨よけトマトのセル苗直接定植では主枝2段摘心側枝1本仕立とすることにより、草勢が安定し、初期収量が高く、商品果収量も高い傾向である。仕立法は、主枝第2花房の着果を確認後、主枝を第3花房下で摘心し、主枝の第1花房下から発生した側枝を誘引していく。					
キーワード	雨よけトマト	セル苗直接定植	仕立法	園芸畑作部 野菜畑作研究室	

1. 背景とねらい

本県では、夏期冷涼、多照で昼夜の温度較差が大きい気象条件を生かした夏秋トマトの振興が図られているが、近年、生産者の高齢化、労働力不足により作付面積が減少傾向にある。そこで、雨よけトマトにおける省力・低コスト生産技術としてセル苗直接定植について検討した。

2. 技術の内容

- (1) セル苗直接定植では、草勢管理を目的として、主枝2段摘心側枝1本仕立をすることにより、草勢が安定し、初期収量が高く、商品果収量も高い傾向である(表1, 2)。
- (2) 主枝2段摘心側枝1本仕立の方法は、主枝第2花房の着果を確認後、主枝を第3花房下で摘心し、主枝の第1花房下から発生した側枝を誘引していく。
- (3) 主枝の第1、2花房の着果数は慣行と同じ3~4果とする(表3、4)。

3. 指導上の留意事項

- (1) 使用する育苗セルトレイは200穴前後と小さいので、苗の軟弱徒長を防ぐとともに、適期定植を行う。
- (2) 定直後から活着まで環境条件に左右されやすいので、灌水や温度管理には細心の注意を払う。
- (3) 活着後、草勢を強くしないために、30日間程度灌水を控える。
- (4) 整枝法以外は慣行の施肥法、栽培管理を行う。
- (5) 対象品種は「桃太郎8」である。

4. 技術の適応地帯

県下全域

5. 当該事項に係る試験研究課題

〔野菜1〕1-(2)-ア-a 雨よけトマトにおけるセル成型苗直接定植技術の確立

6. 参考文献・資料

- (1) 平成8年度 野菜関係試験成績書 岩手県園芸試験場 野菜花き部
- (2) 平成9年度 野菜関係試験成績書 岩手県農業研究センター 野菜畑作研究室
- (3) 平成10年度 野菜関係試験成績書 岩手県農業研究センター 野菜畑作研究室
- (4) 平成11年度 野菜関係試験成績書(未定稿) 岩手県農業研究センター 野菜畑作研究室
- (5) 平成10年度 野菜試験研究成績概要集「夏秋トマトセル苗直接定植における仕立法」  
宮城県園試栽培部野菜科

7. 試験成績の概要

表1 収量

試験年次	試験区名	商品果			時期別商品果収量(kg/a)								
		個数 (ヶ/a)	1果重 (g)	収量 (kg/a)	7月		8月			9月			
					中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
H9	主枝1本	3370	189	637	83	154	191	133	41	2	34	-	
	主1摘側1本	2713	195	529	36	71	165	188	38	9	16	-	
H10	主枝1本	3829	167	641	16	201	90	102	147	18	58	10	
	主1摘側1本	3878	166	645	-	85	126	153	171	21	83	5	
H11	主枝1本	3260	189	617	56	283	145	99	26	10	-	-	
	主2摘側1本	3656	191	697	86	309	162	115	12	9	3	-	

播種期(定植期): H9 - 4.4(5.7)、H10 - 4.4(4.30)、H11 - 4.5(4.28)

定植苗: 200穴セル苗 供試品種: 桃太郎8 栽植様式: 畦幅180cm 株間45cm 2条植え(247株/a)

施肥量: N:3.0 P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:3.0 K<sub>2</sub>O:3.0 商品果: A品 + B品

表2 障害果発生割合、花房別商品果数

試験年次	試験区名	障害果発生個数割合(%)				花房別商品果						
		裂果	変形果	空洞果	その他	1	2	3	4	5	6	7
H9	主枝1本	17.2	12.3	36.6	7.8	1.4	0.7	1.0	1.0	0.8	0.4	-
	主1摘側1本	24.1	17.0	23.4	6.8	0.5	0.9	1.6	1.1	0.2	0.1	-
H10	主枝1本	15.5	22.1	13.3	11.4	3.2	3.1	1.9	2.2	1.7	1.8	1.6
	主1摘側1本	27.9	15.0	13.4	8.0	2.4	3.2	2.8	1.8	3.0	1.2	1.3
H11	主枝1本	28.0	30.2	13.4	8.6	3.4	2.4	2.7	2.3	1.2	0.7	0.5
	主2摘側1本	22.1	28.1	10.9	3.7	3.7	2.0	2.4	3.2	2.0	1.3	0.2

花房別商品果数は1株当たり個数

H9の花房別商品果数は良果数

表3 果数調節による収量(平成11年)

試験区名	商品果			時期別商品果収量(kg/a)								
	個数 (ヶ/a)	1果重 (g)	収量 (kg/a)	7月		8月			9月			
				中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
主枝1本(4果)	3260	189	617	56	283	145	99	26	10	-	-	
主2摘側1本(4果)	3656	191	697	86	309	162	115	12	9	3	-	
主2摘側1本(3果)	3878	192	745	87	293	178	124	39	21	3	-	
主2摘側1本(2果)	3063	203	621	41	279	191	80	18	9	-	4	
主2摘側1本(放任)	3779	195	735	63	294	239	119	15	3	-	2	

\* 試験区の( )は主枝第2花房までの着果数、第3花房以降は4果

播種期(定植期): 4.5(4.28) 定植苗: 200穴セル苗 供試品種: 桃太郎8

栽植様式: 畦幅180cm 株間45cm 2条植え(247株/a) 施肥量: N:3.0 P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:3.0 K<sub>2</sub>O:3.0

商品果: A品 + B品

表4 果数調節による障害果発生割合、花房別商品果数(平成11年)

試験区名	障害果発生個数割合(%)				花房別商品果						
	裂果	変形果	空洞果	その他	1	2	3	4	5	6	7
主枝1本(4果)	28.0	30.2	13.4	8.6	3.4	2.4	2.7	2.3	1.2	0.7	0.5
主2摘側1本(4果)	22.1	28.1	10.9	3.7	3.7	2.0	2.4	3.2	2.0	1.3	0.2
主2摘側1本(3果)	22.7	29.5	10.0	5.2	3.1	1.7	2.8	2.2	2.5	2.3	1.1
主2摘側1本(2果)	30.7	30.3	11.9	2.8	1.7	1.2	3.1	2.5	2.1	1.4	0.2
主2摘側1本(放任)	33.0	29.2	10.4	6.9	2.5	2.1	2.2	3.5	2.5	1.8	0.7

花房別商品果数は1株当たり個数